



「10月1日は東京湾の日」 写真コンテスト審査結果・発表

東京湾再生官民連携フォーラムは、
10月1日はトウ(10)ワン(1)で「東京湾の日」とすることを発表している。
より多くの皆様に、東京湾の日を衆知してもらうことを目的に、
第2回目の東京湾をテーマにした「川柳と写真コンテスト」を開催いたしました。
8月31日に応募が締め切られ、厳正なる審査の上、
下記の通り審査結果を選出いたしましたのでお知らせします。

【コンテストの概要】

イベント名: 「10月1日は東京湾の日」第2回 川柳&photo コンテスト
主催: 東京湾再生官民連携フォーラム
募集期間: 令和4年6月1日～8月31日
公募方法: ホームページ、SNS およびポスター、チラシ配布
応募総数: 39点

審査員: 田久保雅己 審査委員長／東京湾再生官民連携フォーラム企画委員
東京湾大感謝祭実行委員会委員長／株式会社舵社 編集長
木村尚 審査委員／東京湾再生官民連携フォーラム企画委員
東京湾大感謝祭 PT 長／NPO 法人海辺づくり研究所事務局長
岡島達男 審査委員／国土交通省関東地方整備局 港湾空港部／事業継続計画官

審査基準: 「10月1日は東京湾の日」をイメージする誰にでも分かりやすい構図、東京湾を美しく
豊かな海へ再生することや、持続可能な海洋環境保護活動の必要性を感じる写真

表彰式: 10月1日(土)東京湾再生官民連携フォーラム第10回総会での Zoom 表彰

【審査結果】

大賞

場所 : 千葉 富津干潟

お題心情: お題「富津干潟のアマモ場」 | 心情「いつ訪れても広大で美しいアマモ場とそこに生息する生き物たちに出会える富津干潟は、とても楽しいところです。」

<応募者: 末岡 一男(すえおか かずお)>



田久保審査委員長コメント:

空と海の中を一望して、アマモ場の美しさを表現した優れた作品です。水中のアマモ、青い空、遠くに浮かぶ白い雲、全体の構図も素晴らしい。

木村審査員コメント:

画かくが狭いので、波があると、このタイミングの撮影は大変だったと思います。

関東最大のアマモ場、生物の多様性上も、ブルーカーボンの視点からも重要ですね。みんなで大切にしていきたい場所です。

岡島審査員コメント:

富津干潟のアマモ場の水中の状況と青い空と白い雲と、アマモ場を解説する断面図のような面白い構図だと思いました。でも色もきれいで、写真としてもいいと思います。

佳作

場所 : 東京 江戸川放水路

お題心情: 「トビハゼ赤ちゃんとの出会い」 | 干潟のアイドル、トビハゼ。今年生まれの幼魚の可愛さは格別で、暑い夏の日に出かけた甲斐がありました。

<応募者: 石川 新(いしかわ あらた)>



田久保審査委員長コメント:

トビハゼの稚魚、可愛らしいですね。見つける努力に愛を感じました。

木村審査員コメント:

絶滅危惧種ですね。東京湾でも見られる場所は限られていて。特にこの場所は、アオシオが遡上すると過酷な環境になりますから、トビハゼの幼魚がみられるとホッとしますね。

岡島審査員コメント:

トビハゼの赤ちゃんがどこにいるのかと思うほどかわいい姿が写っていました。良く見つけたと思いました。貴重な生息地と生物が守られてこれからも元気に育ってほしいものです。

佳作

場所 : 葛西臨海公園

お題心情:「狙いを澄まして」 | 葛西臨海公園に飛来したコアジサシ。私も共に全集中で、獲物を狙っている瞬間を捉えました。

<応募者: 石川 新(いしかわ あらた)>



田久保審査委員長コメント:

背景にディズニーランドがきちりと写っているため東京湾奥であることが明確に分かり、そこで生息するために、獲物を狙う生物の緊張感が伝わってきます。

木村審査員コメント:

春秋の二回、東京湾を渡り鳥が利用してくれています。利用し続けてもらえる場所であり続けるのは重要だと思います。

岡島審査員コメント:

獲物を狙っている瞬間の動きを見事に止めています。小型の鳥なのですがもう少し大きく見たかったところですが、ど真ん中に止まっているコアジサシに撮影者の集中した緊張感も伝わってきます。

佳作

場所 : 千葉 木更津金田

お題心情: お題「夕暮れの漁港と富士山」 | 心情「夕暮れ時、静まり返った漁港、遠くに見える富士山、アクアラインの車、のコントラストが 1 日の終わりを感じさせてくれます。」

<応募者: 末岡 一男(すえおか かずお)>



田久保審査委員長コメント:

夕暮れ時の漁港と、その向こうにシルエットになって写っている富士山。東京湾ならではの風景です。

木村審査員コメント:

千葉側の人には、なじみのある光景でしょうね。こういう光景を心静かに見守る時間は大切だと思います。

岡島審査員コメント:

夕焼けに海の向こう側に富士山が見え、陸地の黒とトワイライトの美しいタイミングでの東京湾の視点場としても行ってみたいと思わせるものであると思います。